A27 アカイエカとチカイエカの地上における生態の比較調査法

○津田 良夫¹, 比嘉 由紀子¹, 川田 均², 高木 正洋², 小林 睦生¹ (¹国立感染症研究所, ²長崎大学熱帯医学研究所)

Ecological method comparing activity of *Culex p. pallens* and autogenous *Cx. p. pipiens* at above ground habitats

Tsuda, Y., Higa, Y., Kawada, H., Takagi, M., Kobayashi, M.

関東地方の都市域を対象とした疾病媒介蚊の発生状況調査によって、予想外に広い範囲でチカイエカが地上に出て活動していることがわかってきた。チカイエカの疾病媒介能力を評価するには地上に出てきた個体の生態を詳しく調査する必要がある。アカイエカとチカイエカの地上における活動を比較するために東京都新宿区の2ヶ所と長崎大学医学部キャンパスで成虫調査を行った。調査では吸血のために飛来する個体を対象とした二酸化炭素トラップと産卵する個体を対象とした Gravid トラップの2種類のトラップを用いて成虫を捕獲した。捕獲された成虫は個眼数によってアカイエカとチカイエカに分類した。アカイエカの捕獲数を基準としてチカイエカの相対的な密度を求めたところ、二酸化炭素トラップで捕獲されるチカイエカの相対密度の方が、Gravid トラップで捕獲されるチカイエカの相対密度よりも高かった。この結果の生態的な意味について考察する。

A28 *Anopheles sinensis* 成虫雌の脚白帯対節比の地理的変異

○高井 憲治¹, 小熊 譲², 栗原 毅³, 小林 睦生³ (¹聖マリアンナ医科大学, ²筑波大学, ³国立感染症研究所)

Geographical variation in the tarsal band-segment ratios in female adults of *An. sinensis*

Takai, K., Oguma, Y., Kurihara, T., Kobayashi, M.

An. sinensis に近縁な北海道産ハマダラカ *An. engarensis* が、国内及び韓国産の *sinensis* より有意に短い成虫雌の脚肘節白帯の対節比によって *sinensis* と区別し得ることが明らかとなってきた。ところで、成虫雌の脚肘節白帯の対節比を少なくとも模式図で示した *sinensis* の文献を調べると、驚いたことに、*sinensis* の lectotype (中国産：コペンハーゲン大学博物館所蔵) を記載した Harrison (1973) には、*engarensis* にほぼオーバーラップするか、後脚については *engarensis* より短い対節比が描かれている。聖マリアンナ医大当教室に「中国科学院」のラベルの付いた上海産の *sinensis* が10個体(うち雌8個体)あった。それらの脚白帯を計測すると日本・韓国産のもの脚白帯よりやや長い値が得られた。模式図が脚白帯対節比を忠実に描いているかどうかはケースバイケースと思われるが、このほかの *sinensis* 文献上の対節比を比較した。 *engarensis* の短い脚白帯が、*sinensis* の地理的変異の中に含まれてしまうのかどうか、地理的由来の異なった *sinensis* について調べる必要がある。